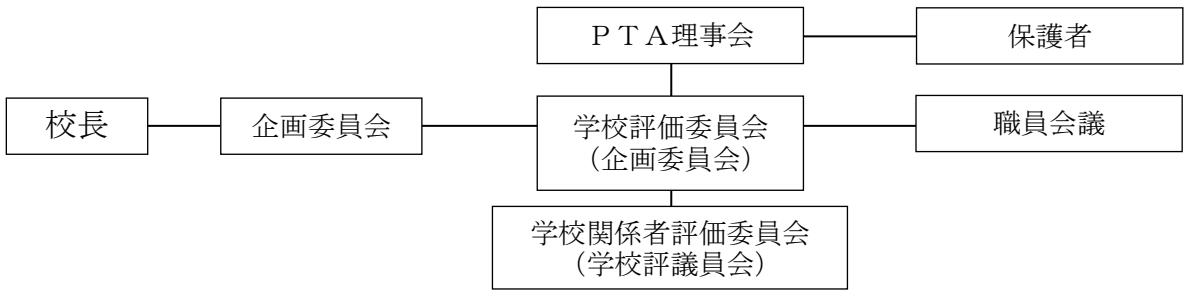
学校評価

(1) 学校評価のための組織

組織図



(2) 学校評価の年間計画

月	実施計画	月	実施計画
4	重点目標、学校関係者評価を実施する主な評価項目の設定	11	外部評価の実施
6	ＰＴＡ、学校評議員への公表	1	年度末評価の実施
9	中間評価の実施	2	外部評価の実施

(3) 本年度の学校評価

本年度の 重点目標	1　授業規律を確立し、コミュニケーション力を高める。 2　防災意識の向上等、危機管理意識を高める。 3　業務改善を行い、教職員の多忙化解消に努める。

項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項
総務部	広報活動	ホームページの有効活用	ＰＴＡ活動や校内行事をホームページに公開する。体験入学と学校説明会を行い、中学生、その保護者や中学校教員にも本校の実情を伝える機会を増やす。
	図書業務及び情報処理のマニュアル化（継続）	昨年度マニュアル化できなかった残りの業務のマニュアル化推進	業務の引継ぎが円滑にできるように、業務のマニュアル化を図る。
教務部	基礎学力の向上と学習評価の充実	魅力ある授業実践 評価方法の研究	基礎基本の充実を図るとともに言語活動やＩＣＴを取り入れるなどして、生徒が主体的・対話的に取り組み深い学びにつながる授業展開を目指す。 指導と評価の一体化を目指し、各種研究活動内容の共有、観点別評価の研究を行う。
生徒指導部	校則の見直し	服装規定、頭髪規定、生徒手帳の内容の検討	現在の生徒指導部内規や生徒手帳の内容をＰＴＡ理事会や生徒会役員の意見を参考にして見直し、現在の校則の内容が社会規範との差異が少ないものになるように検討する。
	防災活動	地震津波避難訓練、火災避難訓練、 三校合同津波避難訓練の実施	地震や災害における避難経路や避難手順を生徒に理解させるとともに、避難時に園児やお年寄りを助けるための、より良い手立てを考えさせる。
進路指導部	学習指導の計画の見直し 進路行事の３か年計画の確立	各学年、学期ごとの指導の計画の見直し 生徒の能動的な進路学習の計画	学年ごとで学習到達目標を決め、指導の目的に沿った計画を考える。 生徒が進路選択について主体的に考え、行動できるような３か年行事を計画する。
保健部	生徒の心身の健康増進	健康観察や自己管理能力の向上	健康観察、個別の指導計画、保健室来室、スクールカウンセラー相談者の状況を共有し、生徒指導に生かす。 感染症予防への注意喚起を促す。
	環境美化・安全の推進	美化委員会の活動の活性化 安全点検の実施	美化委員による教室の環境点検を実施し、生徒の環境美化と安全に対する意識を高めていく。 教員による安全点検を実施し、環境や設備への意識を高める。
生徒会部	部活動の活性化	学年会、部活動顧問との連携 部活動における安全の確保	１年学年団と部顧問との情報交換を密にする。 下校時刻、環境の整備など、安全面で配慮する。
	生徒会活動の充実	生徒会顧問教員、生徒会役員、常任委員会の三者間の協力	生徒の自主的な発案を促進できるような組織づくり、雰囲気づくりを支援する。
３年	自覚と責任	最上級生としての自覚と意識 身だしなみ指導の充実	場に応じた適切な言動や、正しい身なりができるように指導する。一か月に一度の身だしなみ指導を実施する。
	自立と協調性	自発的、主体的に行動できる力の育成 仲間意識の向上	学校生活や行事を通してリーダーシップの育成や、社会で活躍できる生徒を育てる。
	進路目標の実現	進路実現の支援	自己の進路目標に向け、ねばり強く挑戦し続ける精神を涵養する。

項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項
２年	自覚と責任	集団の中での役割の自覚、身だしなみ指導の充実	生徒への声かけを積極的に行い、正しい身だしなみで過ごすよう指導する。 学校行事や特別活動を通じて吉良高校への帰属意識を高める。
	学力の向上	授業の充実、各生徒の習熟度に応じた学習指導	授業を大切にする姿勢を養い、各生徒の学力に応じた学習指導を、各教科と連携して継続的に行う。
	進路目標の設定	ＬＴの活用、個人面談の充実、進路指導部との連携	具体的な進路目標の設定に向けてＬＴの内容を工夫する。個人面談を活用して進路意識の向上を促す。
１年	高校生としての自覚と行動	基本的生活習慣の確立、積極的な挨拶の励行、特別活動の推奨	繰り返し声かけをし、遅刻防止、正しい身だしなみを促す。挨拶をしやすい雰囲気を作る。 特別活動への積極的な参加を促す。
	基礎学力の向上	基礎基本の定着、授業規律の向上、家庭学習習慣の定着	基礎内容の定着を図る。 授業に集中できる雰囲気づくり、環境整備を心がける。 課題提出を徹底する。
	進路研究	多様な進路研究と職業観の育成、類型・コースの選択	ＬＴや探究、個人面談を通して、自己分析を啓発する。 進路適性を考えさせ、進路実現への足掛かりとさせる。
生活文化科	地域貢献と生活文化科の広報活動	持続可能な地域社会の未来に貢献する活動	「地域の未来を創る人材育成事業」「愛知の産業担い手育成事業」「探究」を実施する中で、生徒が主体的に関わることができるように実践し、その様子をホームページに積極的に掲載する。
	基礎基本の徹底と向上	検定による基礎的・基本的な知識技能の習得及び主体的に取り組むことのできる授業展開	検定等で基礎基本を押さえた上で、生徒が主体的に学習に取り組めるよう、対話を取り入れた授業展開を行う。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		１　授業規律の確立と、コミュニケーション力の向上 ２　防災意識、危機管理意識の向上 ３　学校いじめ防止基本方針に基づく取組 ４　業務改善に向けた取組、教職員の多忙化解消	